

【シンポジウム】

学会等団体間連携推進委員会企画

働き方改革の実質に向けた働きがいと働きやすさ
(クリニカルパス学会後援、日本医療情報学会との共同企画)

【座 長】

太田圭洋 先生 (日本医療・病院管理学会、社会医療法人 名古屋記念財団
理事長)

小林美亜 先生 (日本クリニカルパス学会副理事長、和洋女子大学教授)

【講演者】

副島秀久 先生 (済生会熊本病院名誉院長、
前 日本クリニカルパス学会理事長)

白鳥義宗 先生 (名古屋大学医学部附属病院メディカル IT センター教授・
第 41 回 医療情報学連合大会 (第 22 回日本医療情報学会学術大会大会長)

米本倉基 先生 (藤田医科大学、日本医療・病院管理学会 学会等団体間連
携推進委員)

【企画の趣旨】

働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律が施行され、医療にも適応されました。医療は医師だけでなく多様な職種の連携によりチームで提供されるものであるため、多くの医療専門職種それぞれが自らの能力を活かし、より能動的に対応できる仕組みを整えることが重要です。しかし、それらが、長時間労働や医療者の自己犠牲によってなされるものであってはなりません。患者へのきめ細かなケアを実施するためには医療チームの連携を促進し、医療従事者の役割分担や IT などの活用による負担軽減、医療の標準化による質の向上が不可欠です。本企画では、クリニカルパス学会、日本医療情報学会、日本医療・病院管理学会の立場からその実現のために何ができるか議論をしたいと思います。